

都高P連会報

発行：東京都公立高等学校PTA連合会(都高P連)
編集：都高P連

事務局：〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-7-6 鈴木ビル3F
電話：03-3294-0281 F A X：03-3294-0283

平成20年度定期総会開催

国立オリンピック記念青少年センターにて

平成二十年六月十三日国立オリンピック記念青少年センター4階セミナーホールにおいて、平成二十年東京都公立高等学校PTA連合会定期総会が開催された。

総会は午後7時に始まり、十九年度の事業報告、決算報告が了承され、二十年度の事業計画案および予算案が承認された。本年は学校支援センターに対応した6地区・島しょ体制が実質的にスタートした年度であり、組織再編成後の運用の上で継続的に見直しを図っていく。さらに二十一年度で開催する第60回全国大会東京大会の準備が大きな活動となる。

本定期総会にて、都高P連は、加盟校単Pの皆さん方にとって、真に役に立つ、力ある組織を目指して、平成二十年度を出発した。来賓挨拶に続き議事



に入り、宮下前評議員会議長、北條前副議長が議長・副議長として選出された。

第一号議案として、「第60回全国高等学校PTA連合会大会東京大会実行委員会会則(案)」が提案され、採決、了承された。続いて、二号議案、三号議案として十九年度の事業報告・決算報告が行われた。質疑応答のあと採決、了承された。

任する役員が紹介され、拍手をもってねぎらわれた。

廣川選挙管理委員会副委員長により、二十年度会長・副会長選挙結果が報告され、新役員にバトンが渡された。



森谷会長による二十年度役員紹介・挨拶に続き、第四号議案である、二十年度事業計画が審議され、賛成多数で承認された。

次に松本副会長の説明で第五号議案が審議され、予算案も承認された。

なお当該配布の会計書類と「十九年度活動の歩み」に記載漏れがあり、議事進行に

停滞の場面があった。六月末日訂正版が送付された。

森谷一夫会長

【基本的な活動方針】

東京都公立高等学校PTA連合会(以下「都高P連」と称します)は、PTAの健全な発展と青少年の健全育成につとめます。今年度は、再編後の組織運営を検証しながら、「地区」を中心とした単位



森谷一夫会長

目次

- ①平成20年度定期総会開催
国立オリンピック記念
青少年センターにて
- ②地区での活動が始動しています!
中部南地区
- ③第20回東京地区高等学校
PTA連合会大会
テーマ「世界の親子の絆意識」
サブテーマ「国際化時代の中で
親子の絆を見直そう」
- ④第59回全国高等学校
PTA連合会大会愛知大会
- ⑥第1分科会にて発表!
八王子高等学校の取り組み
- ⑧20年度活動 単P・地区
・都高P連
講演会・研修会情報

PTA相互間の新たな連絡連携を構築し、高等学校教育の振興に寄与することを目的とする活動に取り組んでいきます。

変わりゆく社会と教育環境のもとで、都高P連は、生徒たちのために単位PTAが一層の学校支援をしていくように、教育行政に関する情報提供と会員相互の研鑽につとめ、諸条件の整備を進めていきます。そのために、東京都教育委員会・学校経営支援センター、校長協会との連携を進めていきます。また、役員派遣等を通じて広く教育関係諸団体とも交流を深め、子どもたちのために、生徒たちのために社会において意義ある活動を推進していきます。

併せて、今年度は、新設校への入会の働きかけ、退会校への再加

入の働きかけを、各地区連合会と連携して行っていきます。今日、PTAのあり方が社会的に問われる中で、都高P連の存在意義について各会員が確信を持って語れるように、教育情報の発信や交換、会員相互の交流の場を提供し、子どもたち・生徒たちの生活環境や教育環境の改善に取り組んでいきます。

第60回全国大会東京大会に向けて、子どもたち、生徒たちの人間的育成、家庭・学校・地域・社会の連携を視野に入れた活動に取り組んでいきます。

【具体的な活動内容】

- 1. 常置委員会
- 第21回東京地区大会実行委員会
- 第21回東京地区大会の企画・運営を行います。
- 会則・規程の運用に

開する検証委員会
新たな会則・規程の
運用にあたって不備・
不具合が発生してい
ないか検証します。

■教育課程とPTAに
よる学校支援に関する
調査検討委員会
一昨年の履修問題の
ような教育課程に関
する問題への対応、土
曜・放課後の活用方法、
長期休業期間の指導
体制、PTAによる学
校支援等についての調
査検討を行います。

2. 特別委員会
■第60回全国大会東
大会予算編成委員会
第60回全国大会東
大会の予算編成を行
います。またJTBとの
予算交渉に当たりま
す。

■第60回全国大会東
大会企画委員会
第60回全国大会東
大会の全体会・分科
会について企画を行
います。

■PTA保険制度に関
する調査検討委員会
24時間保険につ
いての調査検討を行
います。

3. 広報活動
役員会、運営委員会、
事務局に広報担当者

置いて、各地区の広報
担当者（協力員）等と
連携して広報活動を
進めます。広報媒体と
しては、都高P連会報、
ホームページ、都高P
連インフォメーション
を活用します。ホーム
ページのリニューアル
を行います。

4. 総合補償制度・賠
償責任補償制度
総合補償制度・賠償
責任補償制度の円滑な
運用をしていきます。
総合補償制度について
は、20年度はAIUを
幹事会社とします。

5. 委託事業および第
58回全国大会愛知大会
リーダー研修会、東
京地区大会、第58回全
国大会愛知大会に取り
組みます。

6. その他
全都会長会の機会を
活用して、様々な情報
の提供や意見交換を行
っていきます。社会環
境や教育環境における
課題に対応した取り組
みを、20年度も継承し
ていきます。また、新
設校への入会の働きか
け、退会校の再入会の
働きかけの進捗状況に
ついては、役員会、運

営委員会、地区長会に
おいても議題にしてい
くようにします。

7. 平成20年度都高P
連スローガン
「信頼を築き 未来を
育む 都高P連！」

「信頼を築き 未来を育む 都高P連！」

地区での活動が始動しています…

●中部南地区

「旧第一学区 合同学校説明会 見学会」



先生の説明を熱心に聞く中学生と保護者

中部南地区PTA連
合会では、十月五日の
日曜日、都立蒲田高校
で開催された合同学校
説明会を見学しまし
た。

かれこれ七年以上も
続くこの合同学校説明
会は、PTAが積極的
に支援する学校説明会
として、評価の高い活
動と聞いておりました
が、学区から中部南地
区に移行し、旧一、二、
三、十学区の学校構成
となったことから、こ
の一学区独自の取り組
みを見学し、今後のPT
A活動に役立てよう
と企画されました。
この説明会は旧第一
学区都立高校長会が主
催し、大田区教育委員
会が後援、大田区中学
校長会ならびに参加各

校PTAが協賛する催
しで、日比谷をはじめ
とする十三の普通科、
晴海などの三つの総合
学科、工業科としては
六郷高校、商業科では
芝商業、またビジネス
コミュニケーション科
として二十一年四月に
開校となる大田地区進
学型専門高校など合計
十九学科、十八校が各
教室に分かれて説明会
を行うものでした。

説明会のスタイルも
学校により様々で、先
生方のみで行う学校、
PTAが受け付けを行
う学校、生徒会も協力
する学校もあり、また
制服の展示やのぼり、
PTAがお揃いのTシ
ヤツを着て活発に盛り
立てる学校もあり、熱
気溢れる説明会でし
た。

合同学校説明会は、
東京都教育委員会が十
月から十一月にかけ
て、墨田川高校（予定
参加九十九校）、立川
高校（同 百十二校）、
新宿高校（同 百七十
九校）を会場校として



受付をするPTAの皆さん

多様化する都立高
校。その姿は、年々変
化して行くため、PT
A活動をやっている私
達にも他校の姿はな
かなか判り難いもの
です。まして中学生の保
護者にとって、子供の
志望校を選択すること
は難しいことです。そ
んな時にPTAや子供
たちにも話が聞けるの
は有難いことです。そ
して何よりPTAが先
生と一体となって盛り
立てている学校は魅力
的であり、保護者に安
心感を与えるもので
す。私達が少しでもそ
の手助けができればと
考えさせられる有意義
な見学会となりました。

◎都高P連事務局に気軽に足を運んでください。
(不在時もあるので事前に一報ください)
電話・FAX・メールも歓迎！
電話：03-3294-0281 FAX 03-3294-0283
e-mail: tokopren@gd6. so-net. ne. jp

単P運営の課題・保険・麻疹・フィルタリングetc.
単位PTAでの日常活動で気づいたこと、
ご意見、質問、お寄せください。

第20回東京地区高等学校PTA連合大会

テーマ『世界の親子の絆意識』 サブテーマ「国際化時代の中で親子の絆を見直そう」

平成20年7月3日、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにおいて、都高P連の会員を対象とした「東京地区大会」(式典・基調講演・パネルディスカッション)が大勢の参加者を得て開催された。

■大会開催趣旨より「高校生を取り巻く社会環境が大きく変化し、価値観も多様化しています。このような状況の中で、21世紀を担う高校生が、豊かな社会性と優れた創造性を培い、自らの責任をもって行動できる人間として成長していくことはすべての親の共通の願いです。」

そのためには高校生の生活の場である家庭・学校・地域社会が、それぞれの役割と責任を自覚し、高校生が意欲を持って生き生きと充実した生活を送るよう支援する必要があると。地域社会と学校との関わりの中で、親として、今、子どもたちのどのように向き合えば良いのでしょうか。

親子の絆、地域の絆、そして人間としての絆を今一度考える時代ではないでしょうか。次世代を担う高校生に何が出来るのか、大いに語り、連携し、会員相互の絆を高め、

校生の夢と希望をかなえようではありませんか。

グローバル化が進んで、今、時代は世界の独自の文化や生き方を相互に尊重し多文化共生社会に変化しつつあります。今後、青少年が国際社会の一員として活躍するためには、自国の文化理解を深めると同時に世界の異文化理解が基本的な条件となります。

そこでPTA活動として『世界の親子の絆意識』を知ることによって、これからの日本人としての在り方、生き方を模索する一つの方法として、基調講演や外国国籍の高校生によるパネルディスカッションを行いたいと思います。

基調講演

マン・クンスティーン氏

心の居所を見出す場があります。(中略) 子どもにとっては、家庭の外での競争からくる心理的な緊張感が家庭の中で癒されることで、再び外へ出て行く意欲とつながるのでないでしょうか。そしてその意欲を最終的には社会での自立につなげて、責任を持って一人前の大人への育てていかなければならないと思います。このよ

■都高P連森谷会長あいさつより
「本大会のテーマは『世界の親子の絆意識』ということです。家庭は基本的な生活習慣を身につけ、家族愛の中で

やしみじみとするエピソードを織り交ぜながら話された。なかでも、約束事、ルールについて国によって様々な捉え方があるとのエピソードは大変興味深いものであった。また日本の子どもたちの持つ自由奔放さに言及し、その危うさをマリさんが警告してくださったと受け止めた。

次に、毎日新聞論説室専門編集委員の玉木研二氏をコーディネーターに迎え、外国国籍の高校生六人によるパネルディスカッションへと移った。オーストラリア・フィンランド、中国国籍を持つ高校生であった。本国の父母、ホストファミリー、友人について語ってくれた。

【後援】東京都教育委員会・東京都公立高等学校長協会・東京都公立高等学校副校長協会

一人ひとりのつとめを大切に。

MSIG 三井住友海上

あなたのすべてを守りたい。

火災保険、自動車保険、旅行保険、医療保険、生命保険、損害保険、ペット保険、ゴルフ保険、海外旅行保険、国内旅行保険、ケガの保険、介護保険、地震保険、火災保険、自動車保険、旅行保険、医療保険、生命保険、損害保険、ペット保険、ゴルフ保険、海外旅行保険、国内旅行保険、ケガの保険、介護保険、地震保険

保険のことなら 三井住友海上代理店まで。

安心・安全をひろげたい。 マングローブ植林は、地球の未来にかけた保険です。

私たちが東京海上日動は、1999年度からNGO「マングローブ植林行動計画」と「財団法人オイスカ」をパートナーに、マングローブ植林を始めました。ひろく地球全体を「安心・安全」でつみこむために、当社はこれからもマングローブ植林をつづけていきます。

東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
TEL:03-3212-6211(代表) http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/ 東京海上日動

細かいところでもほめられたい。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る個人用自動車総合保険「ONE-Step」やインターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した新・海外旅行保険「Tofli(トフリ)」など。あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った高品質の安心を力強く、ご提供します。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL. 03(3349)3111
ホームページアドレス http://www.sompo-japan.co.jp
S05-12524(2006.3)

AIUの高校生総合保障制度 (こども総合保険)

私共AIUは、日本で営業を開始して早や60年が経ちました。学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上ものあいだ積極的に取り組み、おかげさまで全国25,000校以上の学校・PTAにて学生総合保障制度をご採用いただいております。

社会貢献事業「高校生国際交流プログラム」

AIU 保険会社 エイアイユー インシュアランス カンパニー 東京都千代田区丸の内1-1-3 〒100-8234



全国高等学校PTA連合会大会

第58回

平成20年

8月21日・22日・23日

愛知大会

「絆と愛と知で結び合う心と心」をテーマに、第58回全国高等学校PTA連合会大会愛知大会が、8月21日、日本ガイシスポーツプラザにて開幕した。

大会には全国から約一万人のPTA関係者が集った。

赤いポロシャツ・白いサンバイザーで道に立ってにこやかに道案内をしてくれる役員の方々の爽やかな笑顔が印象的であった。

さらに会場では旭丘高等学校管弦楽団・名古屋南高等学校吹奏楽部がすばらしい演奏で参加者を出迎えてくれた。

地域社会こそ生きた教育の場

後藤副実行委員長の開式の辞、名古屋南高等学校吹奏楽部によるファンファーレで幕が開き、関鋼太郎大会実行委員長は次のように力強く大会開会宣言をした。

「愛知大会のメインテーマは『絆』です。本大会が、地域社会こそが子どもたちにとって生きた教育の場であると今一度認識を新たに、子どもたちの未来のために家庭と地域社会の果たすべき役割

を考える機会になることを強く望んでいきます。

また子どもたちにとって家庭こそが心の居場所であると実感できる環境づくりをめざして、全国の皆様と『家族の絆』ということばの持つ重みをしっかりと受けとめられる大会になることを念願します。」

家庭生活の充実と学校、地域社会との連携を深めて

国家斉唱の後、高橋正夫社団法人全国高等学校PTA連合会会長が「学校と地域、家庭が一体となって子どもたちが健全に育つ教育環境を整えることが不可欠」と式辞を述べた。さらに全高Pでは「文部科学省の委託事業として本大会が認められ、『世界の親子の絆意識』をテーマに全国9地区で研修が行われている、もう一つの委託事業である『子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実』事業の総括として

『親は子どもに何を伝えていくか』というテーマに関する親子関係（大人の役割）についての調査研究を実施していく」と話があった。

来賓祝辞として、山内俊夫文部科学副大臣より『教育立国』を指し、わが国の未来を切り拓く教育に取り組むため、教育振興基本計画を策定しました。本計画の着実な実施に努め、教育の振興を図ってまいりますので教育行政に対するご理解、ご協力をお願いいたします」と祝辞があり、

神田真秋愛知県知事、住田代一名古屋市副市長から祝辞が続いた。

記念講演

「日本経済のゆくえ」式典が終了し「日本経済のゆくえ」と題し、東京福祉大学大学院教授・中京大学名誉教授水谷研治氏の記念講演が始まった。勢いある愛知の経済の話から始まり、日本経済の抱える問題を解説。「今は何でも手に入る時代で、自分のことしか考えない人が多くなっています。それだけに今後は国の未

来をきちんと考え、将来を担う人材を育てることが急務であり、教育の在り方も考えていく必要があると思います」と結んだ。

その後、愛知県の山海の味覚の詰まったお弁当をおいしくいただく、午後開催の分科会会場に各々移動した。



メイン会場を埋める参加者約1万人

第1分科会

「学校教育とPTA」

高校教育の進む方向は、

「新米会長奮闘記」北海道札幌月寒高等学校PTA会長/小竹知子氏

「八王子東高校応援団」東京都立八王子東高等学校前PTA会長/日野出美智子氏

「地域に学ぶ自然と心」兵庫県立篠山作業高等学校丹南校PTA

会長/赤松美千代氏・PTA副会長/山田康代氏

「PTA活動の難しさ」と面白さ」愛媛県立松山商業高等学校PTA会長/瀧平龍二氏

今日、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりが各地ですめられている。学校運営状況について自己評価を行い、その結果を積極的に情報提供する仕組み（学校評価制度）や学校運営に対して保護者や地域住民に意見を求める仕組み（学校評議員制度）などが推進されており、一層の効果が見られるような運用が求められている。高等学校とPTAの望ましい連携の在り方について研究協議した。

小竹氏は、会長就任から学校祭や会報発行などの取り組みを報告し、日野出氏は、子ども・教師・保護者で繋ぐ信頼のトライアングルについて報告した。

（別掲参照）

赤松・山田氏は、自然を生かした取り組みの実践について報告し、瀧平氏は、情報発信ツール「メールマガジン」を活用した実践

を報告した。いずれの発表もそれぞれの地域・学校にあった実践であり、実り多い分科会となった。



名古屋南高校吹奏楽部



旭丘高校管弦楽団



高校生によるファッションショーの舞台裏



お弁当受け渡しスタンバイ!

●第2分科会

「進路指導とPTA」

「職業意識をどうするか」

■「『山東夢プラン』を支える柱とPTA活動」山形県立山形東高等学校PTA会長／田中孝真氏

■「親子で学ぶキャリア教育」神奈川県立金沢総合高等学校PTA会長／大山亮一氏

■「本校の進路指導とPTAの取り組み」富山県立上市高等学校PTA会長／松谷英真氏

■「保護者も学ぶキャリア教育」岡山県立瀬戸高等学校PTA会長／井上一浩氏

産業構造が大きく変化し、雇用形態の見直しが行われ、職業観も多様化している。依然として、フリーターやニートと呼ばれる青年の数は、高い水準である。青少年が主体的に進路を選択し、目的意識を持って日々の生活に取り組む態度を養う必要がある。青少年の望ましい職業観・勤労観を養うために、PTAとして何ができるのか研究協議した。田中氏は、「山東夢プラン」と名づけられ

た進路学習を支える柱とPTA活動について報告し、大山氏は、親子で学ぶキャリア教育の効果的な取り組みについての報告をした。

松谷氏は、PTAによる社会人講話や特別講座、インターンシップについて報告した。井上氏は、「保護者も学ぶキャリア教育」についての取り組みを報告した。

それぞれが特色のある実践報告で、有意義な研究協議となった。

●第3分科会

「生徒指導とPTA」

「子どもたちの生活意識は」

■「生徒の現状に寄り添ったPTA活動」青森県立板柳高等学校PTA会長／館山毅氏

■「PTA活動 新たな試み・島高の挑戦」静岡県立島田高等学校PTA会長／前田修児氏

■「子どもと共に子どものためのPTA」大阪市立汎愛高等学校PTA副会長／曾我初美氏

■「我々が変わらなければ子どもは変わらな」佐賀県立唐津工業高等学校前PTA会長

／岸本辰也氏

今日、社会環境の変化や価値観の多様化の中で、人間関係の希薄化や規範意識・倫理観の低下が指摘されている。これらを背景として、青少年による犯罪の増加・凶悪化・低年齢化がさらに進み、いじめや不登校などの憂慮すべき事態が生まれている。青少年の規範意識や倫理観を高め、人を思いやる心を育成するためにPTAとして何ができるのか研究協議した。

館山氏は、除草作業や学校祭のバザーに保護者が積極的に参加し、会員相互や、生徒と交流を深めた活動と素朴な津軽弁で報告した。前田氏は保護者と生徒の本音討論会を通して、親子がお互いの理解を深めた活動を報告した。曾我氏は学校行事に親が参画することで、親自身も成長でき、学校作りのパートナーとして協力していきたくと述べた。岸本氏は、自身がマラソンを完走した例をあげ、子どもにしっかりと背中を見せられているかと問いかけた。また、会場からの

質問に、PTA総会を日曜日にし、欠席者総会を何度も開くことで98%の出席率を得たと答えた。

●第4分科会

「家庭教育とPTA」

「家庭の絆とは」

■「食」と「語らい」、そして「携帯電話」群馬県立沼田高等学校PTA顧問／渡辺昇子氏・星野松恵氏

■「家庭教育の現状と課題」静岡県立新潟北高等学校PTA会長／神田光男氏

■「本校の小さな活動を通して」三重県立伊勢まなび高等学校PTA書記／佐々木弥栄子氏

■「子どもたちと共に歩むPTA」福岡県ありあけ新世紀高等学校PTA会長／桑野勝雄氏

核家族化や、少子化が進み、家庭内の人間関係が多面性を失う一方、親子関係が過度になりすぎる面も強くなり、家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした中、子どもの教育や人格の形成に対して最終的に責任を負うのは家庭であり、次

世代を生きる子どもたちにとって必要な資質や能力をしっかりと身に付けさせる必要がある。家庭教育や子育てという観点から、家庭の絆を深めるためにPTAとして何ができるのか研究協議した。

沼田高校PTAは「食」の在り方と家庭内での会話の在り方との関連性などについて報告した。神田氏は朝食を一緒に摂ることや挨拶などの家庭での生活スタイルの改善を報告し、佐々木氏は子どもと同じ時間と空間を共有するためのしかけ作りを報告した。桑野氏はPTA活動に参加して子どもたちと共通の話題を持つことの必要性を報告した。

★特別第1分科会

「情報化社会とPTA」

「情報化の光と影」

■基調講演・パネリスト：総務省／吉田雅彦氏

コーディネーター：東海市教育委員会／藤原一成氏

パネリスト：蒲郡高等学校教頭／梶村章嘉氏
愛知県警／高野真理氏
豊橋商業高等学校PTA会長／河口富久氏

いまや高校生の携帯電話の所持や、インターネットの利用が当たり前の時代となった。これらは若者にとって大切な情報ツールであると同時に、トラブルに巻き込まれる原因にもなっている。若者が巻き込まれるトラブルや、トラブルに悩みながらも相談できないでいる実態を踏まえ、「使

わせない」のではなく「安心・安全に使わせる」ために、危険を充分認識し回避するための指導を学校・家庭・地域・行政が連携して一層充実させていくことが重要である。また、子どもたちが親に相談しやすいように、家庭での親子の絆（コミュニケーション）が大切であるとの報告があった。その後、パネリストがそれぞれの立場で経験に基づいた意見を述べ議論を深めた。

★特別第2分科会

「防災活動とPTA」

「大規模災害に備えたネットワークづくり」

■基調講演・コーディネーター：名古屋大学／福和伸夫氏

パネリスト：北海道大学／平川一臣氏
兵庫県立舞子高等学校環境防災科科长／諏訪清二氏
宝陵高等学校PTA会長／池田信子氏
豊橋東高等学校3年／岡田智久さん
東海地震の危険が叫ばれ、各地で地震が頻発している現在、防災教育の充実が喫緊の課



愛知県連
スタッフの皆さん
さわやかな

題となつている。今までの災害から得た反省を伝え、災害に負けない「生きる力」を子どもたちに授けることが大切である。中央教育審議会の答申にある、自ら主体的に考えて行動し、問題を解決していく力。他人を思いやり協同していく豊かな人間性は、まさしく大地震を前にした子どもたちが獲得しておくべき力である。後半のパネルディスカッションでは、専門家を交えながら防災教育のあるべき姿をさぐるとともに、地元の防災活動の実態や生徒・教師の防災意識のアンケート調査に基づいた発表を聴き、日ごろの防災活動について研究協議した。

★特別第3分科会 「世界の親子の絆意識」

国際化時代の中で、他国の親子の絆を考え、日本における絆を見直そう、

■基調講演・コーディネーター：アメリカ合衆国欧州連合公式通訳／小寺裕子氏
パネリスト：学校法人名古屋国際学園／エリック・オルソン・キク

子氏
国際協力センター
トナム研修監理員／樋口ホア氏

国際協力センター
フガニスタン研修監理員／アマディヤール治春氏

今、時代は世界の独自の文化や生き方を相互に尊重する多文化共生社会に変化しつつある。今後、青少年が国際社会の一員として活動するためには、自国の文化理解を深めると同時に世界の異文化理解が重要となる。

小寺氏はどの国も核家族化が進み、似たような悩みを抱えながら子育てをしていることや、日本と他の国の子育ての違いを述べ、ふれあいを大切に親子の絆を深めていきたいと提言した。その後パネルディスカッションでは、各国の子育てについての発表があり、世界の親子の絆意識についての意見が交わされ、自立した人間に育てるために、親子の絆を深めることが、大切だと話し合われた。(参照 愛知大会速報)

第1分科会にて発表！ 八王子東高等学校の取り組み

「子ども・教師・保護者で繋ぐ信頼のトラ

イアングル」と題して八王子東高等学校19年度PTA会長日野出美智子さんが発表した。パワーポイントを駆使して、リアルに活動の様子を語ってくれた。各単Pでの活動のヒントが随所にちりばめられているので以下に紹介することとした。

皆様こんにちは、東京からまいりました、日野出と申します。東京都立八王子東高等学校は、昭和51年に開校した、今年で創立33年とまだまだ伝統浅き学校です。敷地は狭くグラウンドも変則的と、施設面ではけっして恵まれているとはいえないませんが、それを補って余りある関係者の情熱と努力によって、東京都の「進学指導重点校」に指定され、都立高校の中では、トップクラスの進学実績を誇り、他県からも毎年多数の学校関係者が視察に訪れ

ています。

先生と生徒が一緒に学校を作り上げていくという姿勢と、「文武両道」の精神は、開校時より今も変わらぬ受け継がれております。

部活動はもとより、「しらかし祭」と呼ばれる9月の「文化祭と体育祭」2月の「合唱祭」などの行事も非常に盛んで、生徒が自主的に運営して先生方が陰で支えるという方針が、徹底されています。

一方で生徒の進学希望にあわせたきめ細かい指導も充実し、夏休み、冬休みの講習数は昨年度84を数え、朝補習も年々その講座数が増えてきています。

「うちの子たちはやるときはやりますから」という信頼感が繋がった先生と生徒の良い関係が八王子東高校の学校生活全ての基本になっております。

●信頼関係の大切さ
子ども達に続けくもしもの時の友が真の友

「信頼感が繋がる」ということが、どれほど大きな力となるかを、2年前の未履修問題が起きた時に私たちが実感する事となりました。体育館の後ろ一杯に埋め尽くされたマスコミの前で、臆することなく自分の意見を述べ、学校を気遣う発言をする子ども達。その子ども達に先生方も役員も感動で胸が熱く

●教師と生徒が共に作り上げてきた学校
忙しい高校生活を十二分に満喫して、尚且つ自分の夢の実現のために努力する生徒たち。そして、その生徒たちの夢の実現のために自らにも厳しいスケジュールを課される先生方の熱意のもとに

なりました。その後折に触れて先生方に優しい気遣いをする子ども達の姿は、学校の普段からの教育方針が間違っていないこと、子ども達の学校に寄せる信頼が微塵も揺らいでいないことを示していました。

PTAもその子ども達の姿に、万全で学校を支える決心をしました。

子ども達に、そして保護者に信頼されていると言う実感と感動が、先生方のその後の行動にどれほどの力を与え、学校を急速に正常化させる原動力になった事か。「もしもの時の友が真の友である。」と、あるベテランの先生がPTAに対して言ってくださった

その為の手段として、まず、学校とPTAの日頃の活動を保護者に身近に感じて参加して頂く為の情報発信の方法を検討いたしました。

言葉が忘れられませんでした。

未履修問題は残念な事件でしたが、その後のPTA活動に色々な気づきをもたらしてくれました。

子ども達が示したような学校への信頼を、保護者一人一人に持つてもらうにはどうすればよいのか。その為には全ての会員に向けて、学校が普段何をし、

子ども達に、そして保護者に信頼されているのかを知ってもらう、感じた事を気軽に言える機会を増やすことが大切であると考えました。

●PTAからの情報発信
①一斉配信メールの導入
その為の手段として、まず、学校とPTAの日頃の活動を保護者に身近に感じて参加して頂く為の情報発信の方法を検討いたしました。

はじめに、「子どもが手紙をださないの、お知らせが伝わらない」との不満を解消するために、メール一斉配信システムを導入いたしました。



第1分科会での発表を終えて
(八王子東高校19年度会長
日野出美智子さん)



これによりPTAと学校からタイムリーな情報を保護者と生徒に直接配信できるようにになりました。たとえば学校からは「明日は保護者会です。お待ちしております。」といった学校行事についてのお知らせや、緊急時の連絡などが配信されます。

PTAからはクラス親睦会や講演会への参加呼びかけ、手紙の配布通知などを配信しています。配布通知を配信することで、「今日手紙あったでしょ。出して」と子どもに催促することができず。利用システムは配信先を1学年保護者宛、1学年生徒宛のように区別して指定できるため、きめ細かい情報が流しやすくなっています。現在、登録率は約

85%に達しておりますが、全ての会員に登録していただけのように、保護者会などでも随時呼びかけをおこなっております。

②ホームページの充実
2番目として、ホームページの充実に取り組みました。

更新回数を増やし、イラストや写真を増やす事で、見て楽しいホームページになるように工夫しました。

行事の案内や、行事後に感想や報告を掲載することで、活動に参加しなかった会員に、次回は参加してみたいなど思っていただけのようなページになっております。

お手紙が届かなくても、ホームページから直接行事参加の申込用紙を印刷できる機能もつけ加えました。

③広報誌「志蓮伽之」による情報の共有
3番目が広報誌による情報の共有化です。

広報委員会では、PTA広報誌「志蓮伽之」を年三回発行しております。広報という、委員選出に苦勞するPTAが多いなか、70

名以上という大所帯で、各号を完全に分業制にして、一人の活動期間を短くすることで、負担を減らしております。父親の参加が多いのも特徴です。

都高P連の広報誌コンクールにも毎年入賞し、昨年の全高P連埼玉大会でも、メイン会場に展示されました。

広報誌、ホームページ、一斉配信メール共に、規定をつくり、個人情報に配慮した制作がなされております。

●親睦会等の意図するもの
信頼関係を築くためには、情報発信をするだけではなく、同じ学校に通う子どもの保護者同士として、また八王子東高校の教師と保護者と(して)の人間関係を作るための場の設定も大切であると考えました。

そこで、これまでは自由開催であった親睦会を、各クラス、各委員、各学年の委員と先生を対象に企画して貰う事にしました。

先ず年度の早い時期に(学年毎に)委員と担任の先生方との親睦会を実施します。

おいしい料理とぎつくばらんに話が出る環境を整え、お互い自己紹介しながら初顔合わせをしますが、「先生方の話の面白さ」で場が盛り上がり、会が終わる頃にはすっかり打ち解ける事が出来ます。

この会で先ず委員と先生が互いを知ること、次のステップのクラス単位の親睦会がスムーズに開催できるようにになります。

クラス親睦会では、保護者会などでは話せない、個人的な悩みや相談や、子ども一人一人の様子も先生からお話し頂けるので、より親密な会となり仲間意識が芽生えます。

●信頼関係の大切さ
全ての会員に、何かの時に気軽に相談できたり、一緒に行事に参加したりできるような、仲間としての関係を作ることが、大きな目的です。これは、何か問題が起きた時に、仲間に話すことで、自分だけではないんだという安心感を持つのに有効です。

しらかし祭の後に開かれる懇親会は「熱血

東応援団懇親会」と名づけられて、子どもたちのがんばりに感動した先生と保護者が東高の熱き応援団として集結するという気持ちを込めています。

昨年は、先生24名、委員72名の出席を得て、工夫を凝らした企画に東高大好きな気持ちで益々盛り上がりました。

こうした関係作りを積み重ねることで、「うちの先生すごい」「うちの保護者もやるな」と、お互いを認め合う気持ちが生まれ、子どもと先生との間にある信頼関係が保護者と先生との間にも芽生え、八王子東高校を中心とした「信頼のネットワーク」が構築されていくのだと思えます。

●八王子東高校応援団
最後になります。子どもを頂点として、保護者と学校がそれを支えるというトライアングルの関係の中で、保護者同士、また保護者と先生との信頼関係を築くために、「こども達の大好きな八王子東高校を、保護者も大好きになつて応援しよ

う」という気持ちがある全員に浸透していくこと、その為の活動がPTAの大きな柱です。こうして生まれた信頼関係が、大きなエネルギーとなって循環し、先生を育て、保護者を育て、人として成長していけるのも、PTA活動の大きな魅力です。PTAの構成員は毎年変わりますが、その中で、脈々と変わらず繋いでいくのは、「八王子東高校応援団」であるという熱き想い。その表現方法は、その年集まった委員たちが、今年流、自分たち流に変えることで、熱き想いを引き継いでいくことが出来るのだと思います。PTA活動を通じて、学校理解が生まれ、信頼のネットワークを持つことで、会員全員が其々の学校の熱き応援団になることを、願ってやみません。



★★★皆の手で ぜひととも成功させよう!★★★

平成22年 第60回全国高等学校PTA連合会大会
東京大会

20年度活動 単P・地区・都高P連 講演会・研修会情報

開催日程	主催・会場	形式・参加対象者	テーマ	目的・内容等	講師・パネリスト 予定者
7月～8月 夏季休業中	忠生高校 会場：校内（PC教室、会議室、PTA室、閉校準備室、校長室）	製作 保護者・生徒・教職員・PTA OG	都立忠生高等学校を挙げた奉仕活動の取り組み・視覚障害者のための「さわる絵本」の作成	今年度末の閉校を前に惜しまれつつ閉校を迎えることができるよう地域の奉仕活動に力を入れてきた。活動の主体は、生徒の立ち上げた奉仕活動団体「クリーンバード」。 PTAでも、一昨年より生徒と一緒に地域清掃「美化ボランティア」を主催。 視覚障害を持つ母親と障害のない子どものために提供する「さわる絵本」の作成に取り組んだ。	保護者 生徒 PTA OG
9月30日(火) 10:00 ～11:30	町田高校 (PTA学校共催) 会場：パルテノン多摩	講演会 保護者・生徒・教職員	「うまくなくていい きれいでなくていい 答えなんて十人十色」		有限会社「高卒社長」 代表取締役 進藤慈久氏
10月5日(土)	主催：旧第1学区 都立高校長会 後援：大田区教育委員会 協賛：大田区中学校長会ならびに参加各校PTA 会場：蒲田高校	合同学校説明会	「都立高校合同学校説明会in蒲田」 大田区内の都立高校はじめ旧1学区の都立高校が中学生のために行う合同の学校説明会	<普通科>雪谷・大森・田園調布・蒲田・美原・日比谷・三田・大崎・八潮・小山台・一橋・日本橋 <総合学科>つばさ総合・六本木・晴海総合 <工業科>六郷工科 <商業>芝商業 <ビジネスコミュニケーション科>大田地区進学型専門高校	19学科・18校が各教室にわかれて各学校の先生方が説明会を行う。
10月18日(土) 14:00～	西高校 会場：視聴覚ホール	講演会 生徒・保護者・教職員	PTA文化講演会 「噺家古今亭菊千代奮闘中！」	講演と寄席 (1)前座落語 (2)太神楽 (3)落語 平成5年に初めて女性で真打に。 古典、新作、手話落語様々な分野で活躍中。 太神楽の翁家小花、二つ目のちよりんら一座を引き連れ寄席仕立ての豪華メンバーにて。	古今亭千代菊氏 翁家小花氏 古今亭ちよりん氏 柳亭市丸氏
10月25日(土) 14:00 ～16:00	駒場高校 会場：第一会議室	講演会 保護者・教職員	「笑い！がわかれば あなたは変わる」	講演と寄席 (1)前座落語 (2)寄席太鼓実演 (3)竜楽師匠の落語	三遊亭竜楽氏
11月1日(土) 14:00～	小金井北高校 会場：校内	コンサート・講演会 保護者・生徒・教職員・地域の方々・本校評議員	平成20年度 東京都教育の日 文化講演会 「森 ミドリ チェレスタ・トーク コンサート」 ～間(ま)～	喧騒の世の中、毎日の生活の中で、時間に追われるだけでなく、人と人との[間]を繋ぐコミュニケーションには[ゆとり]が必要ではないでしょうか。心と身体に響く純音、感じてみませんか？	森 ミドリ氏
11月28日(金) 19:00 ～21:00	東京都高等学校PTAリーダー研修会 会場：オリンピック記念青少年センター（カルチャー棟）	単位PTA役員	～子どもの社会的自立を目指して～ 「キャリア教育とPTA」	講演会 パネルディスカッション	立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 準教授 小島貴子氏
12月13日(土) 14:00～	芸術高校 会場：C棟ホール	コンサート 保護者・生徒・教職員・一般	卒業生によるコンサート	2年後に移転を控えて、40年近く過ごした駒場校舎の思い出多きホールにて卒業生（音大進学者中心）による記念コンサートを行う。	卒業生
2009年 2月1日(日)	東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会 会場：オリンピック記念青少年センター	単位PTA役員	～親子の絆～ 「心と体の健康づくりと家庭教育」	講演会	首都大学東京教授 星 旦二氏

※20年度の単位PTA・地区・都高P連で企画されている事業（講演会・研修会など）を広くお知らせしたいとの呼びかけに情報が届けられました。

今後これからの活動の様子、結果等この紙面でお知らせする予定です。皆さんの活動の参考にしていってください。

※また企画する際にアンケートを組み込み、結果をまとめて活動の終了報告書に反映くださるようご協力ください。

※お問い合わせは都高P連事務局にお願いいたします。